

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月3日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 西川浩司

(氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,135	21.1	256	458.4	260	428.8	155	465.3
25年3月期第3四半期	3,415	△25.8	45	△81.2	49	△80.1	27	△79.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.55	—
25年3月期第3四半期	5.05	—

(注) 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,318	3,196	60.1
25年3月期	5,242	3,041	58.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,196百万円 25年3月期 3,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	900.00	900.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期(予想)の期末配当の内訳 普通配当9円、記念配当1円(上場8周年記念配当)

配当予想の修正については、本日(平成26年2月3日)公表いたしました「配当予想の修正(上場8周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成26年3月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割後の1株当たり配当額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,414	1.0	201	4.7	204	2.0	120	0.0	22.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,500,000 株	25年3月期	5,500,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	51,149 株	25年3月期	51,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,448,875 株	25年3月期3Q	5,448,900 株

(注) 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした新政権の経済政策等による円高是正と株価の回復基調を背景に、企業収益は改善方向に進み、国内景気は緩やかながら回復傾向が見られたものの、円高是正効果による原材料をはじめとした輸入品価格の上昇や、消費税率の引き上げに対する不安感など、先行きの不透明感が払拭できない状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社では、海外拠点へ生産シフトを図る自動車業界へのF A装置(F A : Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。)等の売上高が堅調に推移し、また、フラットパネルディスプレイ(以下、「F P D」という。)業界向けの大型カスタムクリーンブースやアルファフレームシステムによるF A装置等の筐体といった大型構造物の案件も引き続き堅調に推移いたしました。

なお、当事業年度に計画しておりました新工場〔技術センター(立山工場C棟)〕が平成25年12月に完成いたしました。これによりアルファフレームの切断工程からマーキング工程に至る一貫した生産ラインの拡張・充実が図られ、今後見込まれる大型構造物の案件等への迅速な対応も可能となる生産環境が整いつつあります。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、4,135百万円(前年同期比21.1%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は256百万円(前年同期は営業利益45百万円)、経常利益は260百万円(前年同期は経常利益49百万円)、四半期純利益は155百万円(前年同期は四半期純利益27百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、アルファフレームシステムの拡販ツールである3次元自動設計システム「カクチャ™」及び組立省力化システム「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。一般の材料・部品としての受注に加え、上記の各拡販ツールを活用したF P D製造装置向け大口案件を継続的に受注したことによって、売上高は大幅に伸長いたしました。

この結果、当部門の売上高は2,081百万円(前年同期比77.5%増)となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進し、自動車部品製造企業向けのF A装置及びF P D業界向けクリーンブースの受注を、前事業年度同様、継続的に確保いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,255百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品の売上高が、前事業年度の下半期より伸び悩む状況が続いておりましたが、当第3四半期にはやや回復傾向となりました。また上半期では機械設備関係の受注も低調に推移しておりましたが、こちらも回復傾向にあります。

この結果、当部門の売上高は798百万円(前年同期比19.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ76百万円増加し、5,318百万円となりました。これは主に、電子記録債権が162百万円、建物が293百万円、投資有価証券が77百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が496百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ78百万円減少し、2,122百万円となりました。これは主に、電子記録債務が543百万円、未払法人税等が57百万円、設備支払手形が325百万円、それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が998百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ154百万円増加し、3,196百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上155百万円があった一方で、配当金の支払い48百万円があったことにより、利益剰余金が106百万円増加したこと及び、投資有価証券の時価の上昇により、その他有価証券評価差額金が47百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ86百万円増加し、759百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の249百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は216百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、税引前四半期純利益260百万円の計上、売上債権の減少による資金の増加額334百万円などの資金の増加があった一方で、仕入債務の減少による資金の減少額455百万円、法人税等の支払いによる資金の減少額48百万円などの資金の減少があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の46百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は80百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が53百万円、無形固定資産の取得による支出が6百万円、保険積立金の積立による支出が17百万円それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の65百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は48百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、配当金の支払いによる支出があったことなどが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	672,900	759,807
受取手形及び売掛金	2,288,496	1,791,843
電子記録債権	—	162,057
商品及び製品	141,666	155,908
仕掛品	147,161	104,022
原材料及び貯蔵品	249,296	244,899
その他	62,323	41,783
貸倒引当金	△221	△176
流動資産合計	3,561,623	3,260,146
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,444,256	1,763,881
減価償却累計額	△916,626	△942,613
建物(純額)	527,630	821,267
土地	456,904	456,904
その他	652,732	671,077
減価償却累計額	△479,989	△489,919
その他(純額)	172,743	181,158
有形固定資産合計	1,157,278	1,459,330
無形固定資産	10,828	14,364
投資その他の資産		
その他	514,050	586,111
貸倒引当金	△1,650	△1,650
投資その他の資産合計	512,400	584,461
固定資産合計	1,680,507	2,058,156
資産合計	5,242,130	5,318,302

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,861,129	862,538
電子記録債務	—	543,489
未払法人税等	14,002	71,072
賞与引当金	42,894	24,495
その他	97,046	437,156
流動負債合計	2,015,072	1,938,751
固定負債		
退職給付引当金	141,632	150,070
その他	43,569	33,405
固定負債合計	185,202	183,476
負債合計	2,200,274	2,122,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,725,410	2,831,957
自己株式	△34,410	△34,423
株主資本合計	2,993,199	3,099,733
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,656	96,341
評価・換算差額等合計	48,656	96,341
純資産合計	3,041,855	3,196,075
負債純資産合計	5,242,130	5,318,302

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,415,681	4,135,044
売上原価	2,741,240	3,220,238
売上総利益	674,441	914,806
販売費及び一般管理費	628,583	658,715
営業利益	45,858	256,091
営業外収益		
仕入割引	1,755	2,402
その他	1,624	1,685
営業外収益合計	3,380	4,088
営業外費用		
売上割引	36	6
営業外費用合計	36	6
経常利益	49,201	260,172
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税引前四半期純利益	49,201	260,172
法人税、住民税及び事業税	3,870	103,565
法人税等調整額	17,808	1,019
法人税等合計	21,678	104,585
四半期純利益	27,523	155,587

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	49,201	260,172
減価償却費	60,986	64,403
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	34	△45
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,655	△18,398
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,212	8,438
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△6,160	1,261
受取利息及び受取配当金	△496	△428
売上債権の増減額 (△は増加)	150,670	334,683
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△114,081	33,293
仕入債務の増減額 (△は減少)	△108,151	△455,102
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△65,205	31,875
その他	△33,451	4,740
小計	△80,097	264,893
利息及び配当金の受取額	342	158
法人税等の支払額	△169,300	△48,655
法人税等の還付額	—	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	△249,055	216,441
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	4,000	—
有形固定資産の取得による支出	△25,265	△53,323
無形固定資産の取得による支出	△3,750	△6,741
投資有価証券の取得による支出	△3,600	△3,600
保険積立金の積立による支出	△17,263	△17,263
その他	△624	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,502	△80,902
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△13
配当金の支払額	△65,056	△48,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,056	△48,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△360,614	86,907
現金及び現金同等物の期首残高	1,059,305	672,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	698,690	759,807

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,098,553	175.9
装置部門	1,255,047	100.0
合計	3,353,601	137.0

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第3四半期累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
商事部門	工業用砥石	109,775	95.1
	機械設備	221,060	57.0
	工具・ツール・油脂類	354,099	99.9
合計		684,935	79.8

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,069,101	182.3	290,892	322.1
装置部門	1,456,914	117.7	304,015	119.7
商事部門	1,028,425	125.4	319,110	210.1
合計	4,554,440	142.7	914,018	184.2

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,081,415	177.5
装置部門	1,255,047	100.0
商事部門	798,581	80.8
合計	4,135,044	121.1

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第3四半期累計期間		
	販売高 (千円)	割合 (%)	前年同四半期比 (%)
キヤノン株式会社	1,159,479	28.0	422.9

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。